**３−４−１女ことば・男ことば**

男ことば・女ことば

リード文　　 ：日本語の中の男性に対する表現、女性に対する表現を学ぼう！

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ねらい | ： | 男ことば・女ことばを知り、特徴を発見する。  日本社会の中での男性とは、女性とはどのような存在なのかを考える。 |
| 対象 | ： | 日本語学習者（N1~）日本語母語話者 |
| 所要時間 | ： | 90分 |
| 準備 | ： | ワークシート①、ワークシート②（カード式なので事前に切っておく）  ホワイトボード、マーカー、学習者はグループに分けておく。 |
| 進め方 | ： | １　女ことば・男ことばを客観的にとらえてみる授業であることの説明をする。  ２　ワークシートを配布する。「おい、ラーメン屋に行くぞ。お前も行くか？」のセリフがふさわしくないのは誰なのか。ふさわしくない理由や、どうすればその人に合った表現になるのかを考えてもらい、そのあとどの人の場合に違和感を感じたのかを発表してもらう。出てきた答えは適宜、板書するといいだろう。  ３　どうして違和感を感じたか。その理由と、改めた表現を発表してもらう。この答えも適宜板書する。  ４　日本語学習者の母語には女ことば・男ことばがあるかどうかを聞く。  あれば、どのような表現があるか。なければ、女ことば・男ことばに対するイメージを話してもらう。  ５　ワークシート②（カードにして）を配布。次の言葉は男性に使うのか、  　　女性に使うのか  しとやか　　女らしい　　男勝り　　才色兼備　　女っぽい　　なでしこ　　男前　　アラフォー    ６　考え終わったら各グループどのように分けたかを発表。またそれぞれ  　　の言葉の意味も知っていたら発表。知らなくてもどのように考えたの  　　か発表しても面白い。   答え：男性に対して使う：男前　女っぽい  　　　 女性に対して使う：しとやか　女らしい　男勝り　才色兼備  　　　　　　　　　　　　 アラフォー 　なでしこ  （アラフォーは現在、男女どちらにも使われるが、出たときは  女性向けの表現だった。（結婚もせず男同様に働き、自活している４０歳前後の女性という意味））  ７　分けたカードから日本の社会では「男」とは「女」とはどのような存  　　在として考えられているのか、また日本語にはなぜ女ことば・男こと  　　ばがあるのか、いつ作られたと思うか？どのような特徴があるか  　　ど、学習者の雰囲気に合わせた質問をいくつか出す。グループで話し  　　合ってもらい、そのあと、出てきた意見を発表してもらう。  ８　女ことばの成立には諸説あるが、古くは鎌倉時代の女訓書に始まると  　　言われている。特徴としては、名詞に「お」「ご」をつけて丁寧に話  　　す。誘いの際は、男ことばでは「〜する」と既に決定事項として話す  　　のに対し、女ことばは「〜ませんか」と相手の意向を聞く形で聞く。  　　また終助詞の「ぞ」「わ」「ぜ」の使用などが特徴である。女ことばは  　　男性に女性らしさを押し付けられた象徴だと言う見方もある。  ９　以上を踏まえた上で、改めて女ことば・男ことばに対するイメージに  　　変化は起きたか。積極的に使ってみたいと思ったか感想を聞く。 |
| 留意点 | ： | 女ことば・男ことばの使用を誘導してはならない。 |